

第3回 恵那南地区中学校あり方検討委員会 会議録

・日時 平成26年8月26日(火) 19:30～

・会場 岩村振興事務所 大会議室

・出席者 委員長 鈴木峰夫 副委員長 中根貞好

小中学校代表 足立篤美、丸山優

地域協議会代表 勝川哲男、大庭勝徳、阿部道長、三宅勝継

自治連合会代表 西尾公男、西尾忠昭、山内忠良

中学校PTA代表 榎本錦也、成瀬和男、成瀬功一、大島成通

小学校PTA代表 吉村政則、山本浩嗣、大内鉄平、齋藤賢志、堀靖広

保育園保護者会代表 山本純、小木曾守、丹羽英樹、澤野繁紀、中垣野歩、大島孝介

事務局 勝川甲子、水野教正、市川新祐、西尾克子、梅村浩三、市川篤励、山田耕司

教育委員会 大畑雅幸、小林規男、伊藤勝彦

振興事務所長 西尾茂文、門野幸次朗、熊谷浩

振興事務所職員 熊谷春彦、三宅雄大

・欠席者 自治連合会代表 大嶋和司 中学校PTA代表 田之上和代

・委員会内容

1. 開会挨拶 大畑教育長

2. 報告事項

委員長：委員の追加承認について、事務局より説明

事務局：資料に基づき説明

串原の小学校PTA代表を委員として追加するもの。

また、これからの委員会において恵南地区振興事務所長も会議に参加する。

委員長：「恵那南地区中学校あり方検討委員会だより」について、事務局より説明

事務局：資料に基づき説明

8月1日に第1号を発行、自治会回覧において周知をする。

委員長：現地視察を通しての感想について、参加者の方から感想を伺います。

委員：串原小中学校は、先生に支えられ一生懸命勉強する子ども達の姿勢が伺えた。恵

那西中学校では、中学校としてあるべき姿の状態だと思った。大勢いれば若干の

悪は必要とも思われる。そこから発生する様々な問題が子ども達の成長を育む人

間模様が団体生活の中で生まれてくる。給食は大変おいしかった。上矢作中学校

は、串原と同感であり、クラブ活動を希望しても、数の不足に不満を不満と思わなくなる事の子供達の気持ちと、その進路にも別の危惧を感じた。総合的には、恵南地域の中学校の統合には、その地域各々の考えや思いがある。子供の将来像を描き、課題を抽出しながら時間をかけてでも統合に向けての働きかけが真に地域としてその任務が大切、必要不可欠と思う。

委員：串原小中学校は、生徒が非常におとなしい。一人一人に目が届くという点では、良い環境ではあるが、集団での教育は難しい。先生方は中規模校とのハンディーを痛切に感じておられるようで、色々努力、工夫をされている様子がよくわかる。恵那西中学校では、生徒たち一人一人が元気で活発である。先生方も沢山の生徒を指導することで、気配りなど工夫が感じられてとてもよかった。授業の雰囲気も活気があって大変よかった。上矢作中学校では、生徒が全体におとなしい。小規模校では育たない部分を明確にして、学校全体が努力している姿がよくわかる。授業も指導の方向性もしっかりしていて、わかりやすい。さすが上矢作という感じがした。しかし、人数という点では恵那西中学校には見劣りする。全体としては、3校があまりにも違いすぎる。同じ恵那市に住んでいて、同じ年齢の子供達がここまで違う教育を受けることはやはり問題かと思った。大事な3年間をどう過ごすかということは一番大事だと痛切に感じた。

委員：全体に感じたことは、少しでも早く統合に近づけられるような動きがなされればいいと思った。少しでも前進の方向に向けていきたいと思う。すぐに統合ではないが、地域の方の意見を吸収したり、学校同士の交流会などを持って生徒同士の交流が必要かと思った。

委員：あくまでも個人的な感想だが、串原小中学校は、2人や3人の生徒で授業を行っている姿や、小学校は複式学級で同じ教室の中で、背中合わせで授業を行っている姿を見て、こんな事やっていたはあまりにも可哀相だなと感じた。恵那西中学校では、音楽の授業で合唱を見学したが大人数がいると合唱がはれる。やはり人数がいた方がいいなと感じた。上矢作中学校では、校長先生から人数が少ないと良い意味での競争が生まれにくい。人数が少ないといくら頑張っても順位を上げるのが非常に大変。例えば100人いれば今回のテストで頑張れば3人くらい追い越せる可能性があるが、これが10人しかいないと頑張っても追い越せない。切磋琢磨ということが生まれにくいと言われた。大人になって地元に戻ってきても、その時に人間関係は固定である。同級生の中では中学校の時の関係がずっと続く

のは全体の発展にとっていいことではない。また、統合した場合は通学時間が条件の一つになるのではないかと思う。将来の恵那市を背負って立つ人を育てる教育ができるのか。串原の方が地域で育てているという事はそういうことなのかなと思った。統合が全ていいとは思ってはいないが、全体としては統合の方がいいのかなと感じた。

委員長：そのほかご意見はありませんか。

なければ次の議題に入ります。3番の恵那市の中学校の適正規模のあり方について、事務局より説明。

事務局：恵那市の中学校の適正規模のあり方について、「小規模教育検討委員会報告書」(H21年12月)の方針内容を再度確認するために説明。

委員長：今の説明について、ご質問はありませんか。順次、会議が進む中で質問があればお伺いします。

次の議題に入ります。恵那南中学校の現状について、事務局より説明。

事務局：恵那南中学校の現状について、資料に基づき説明。

委員長：それでは4番の地域ごとでのワーキングに入ります。テーマ「中学校のあり方について」を地域ごとで検証していただきます。今日は結論めいたことは無理だと思しますのでどういう意見が出たか、どういう事を考えたかを話していただきたいと思います。

地域ごとでのワーキング

テーマ「地域や時代のニーズに応える学校づくり」

～小規模教育検討委員会の検討結果を踏まえて～

「子どもたちにとって、良い教育環境を考える」

各地域に分かれて協議

委員長：時間になりましたので、ワーキングを終了し、次の5番、その他を事務局説明。

事務局：次回、第4回の開催日を確認。

9月29日(月)午後7時30分 岩村振興事務所大会議室において開催。

委員長：以上で本日の会議は終了いたします。